

# 洪水防止と水門・樋門の役割

星野恭亮 会員

本日の  
プログラム

## 分かりやすい職業奉仕 地区職業奉仕委員会委員長 玉井清治 氏

本日は「わかりやすい職業奉仕」と題してお話しさせていただきます。まず、本題に入る前に、幾つかポイントをお話いたします。

1. クラブ自治権
2. ロータリアンは国際ロータリーの会員ではありません。
3. 公平平等
4. ロータリーではService=奉仕ではありません。
5. ロータリーの奉仕は個人奉仕です。

あなたは美味しそうな「パン」を持っています。目の前にその「パン」をじっと見つめている子供がおります。「パン」を与えたいが、自分が空腹であっては心から差し出すことができません。この空腹を会社とし、子供を地域社会とした場合、常に満腹状態にすることが職業奉仕活動だと私は思います。

皆様は経済界で大活躍されている方々で、会社では親方様で采配を振っておられます。会社の業績が良いからロータリークラブに在籍しているのです。永遠とそれが維持できるとは限らないもので、それを異業種の成功者が沢山いるクラブで自己研鑽をはかり、職場へ持ち帰り、そして地域社会へ放流する。それが職業奉仕です。

ロータリーではその職業に貴賤をつけません。クラブ内における管理上の役職はあっても、ロータリアンとしての上下関係はないのです。

職業の代表者が、例会に集まって奉仕理念を学びます。奉仕理念の研鑽は、会員の職業上の発想の交換によって導き出されるものであり、どんなことでも相談できる前提として必要なものが親睦です。また奉仕理念の研鑽は生涯教育の場でもあることから、ロータリー活動には定年制はありません。例会内活動によって高められた心を持って、コミュニティに戻り、そこで奉仕活動の実践をするのが理想的なロータリー・ライフです。

初期のロータリーはprofits を shareするというロータリーが提唱した職業奉仕の理念を実践に移すことによって、自らの体質を改善し、事業を隆盛に導き、世に有用な職業を尊重し、自らの職業を通じて社会に貢献し、業界の職業倫理の高揚を求めていったことは、ロータリアン、一般社会の人たちにも大きな尊敬と賞賛を与えたことは明らかです。当時のロータリー運動は、運動の中心である職業奉仕によって、ロータリアンと一般社会の双方に大きなメリットを与えました。従って退会を考えるロータリアン

はいるはずもないし、入会を希望する候補者が殺到したのです。

ロータリーの目的は団体ではなく個人です。クラブはその個人奉仕をサポートしているのです。クラブの評価は、素晴らしい奉仕活動をしたかではなく、素晴らしい人を育てたかによって決まるという言葉、改めて思い起こす必要があると思います。

ロータリーライフの中で最も大切にしなければならないことは例会出席です。専門職種の代表が、毎週一回集まって、お互いの職業上の発想の交換をし、職場や業界にとり入れ、職業奉仕のノウハウを学ぶ場が例会です。職業奉仕とは自らの職業に関連を持つ全ての人々に、profits を share しながら、事業を継続的に発展させていく方法ですから、例会がうまく機能していれば、会員にメリットを与えるはずで、例会で語られる事業上の発想の交換は、本音で語ろうとすれば、事業の最高機密や致命的な弱点にも触れる必要がでてくるでしょう。クラブの会員は本音で付き合いができる固い友情で結ばれていることが前提となり、どんなことも相談でき、わが身の不利にはならないことが保証されるような、会員全てが固い友情で結ばれている状態のことを、ロータリーでは「親睦」と呼んでいるのです。親睦活動は、親睦を作り上げるための手段の一つに過ぎません。

あなたのクラブには真の親睦が存在していますか？

あなたのクラブの例会では、活発な事業上の発想の交換が行われていますか？

事業上の利益を犠牲にして参加した例会で、それを上回るメリットが得られていますか？

結論は「例会」がいちばん大切であるということではないでしょうか。人道的援助活動や募金活動にばかりに目が行って、一番大切な例会における奉仕理念の研鑽がおろそかになっているところに、ロータリーの魅力が薄れつつある原因があるような気がしてなりません。



■本日のロータリーソング  
君が代、四つのテスト

2021~2022年度 国際ロータリーのテーマ  
「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」  
国際ロータリー会長：シェカール・メータ